

授業科目名	【G】 【H】 【I】	— 法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ E 法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ E	区分 選択必修	開講年次	【G】— 【H】2 【I】2	単位数	【G】— 【H】2+2 【I】2+2	
科目区分	専門科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	物権法、担保物権法の応用部分を学ぶ。			担当者	勝田 信篤			
授業概要	【概要】	物権法、担保物権法の応用部分について学習する。						
	【到達目標】	学習した内容を現実の事案にあてはめて、妥当な解決方法を導けるようになる。これは、評価基準に記載した「応用力」にあたる。 【例】学習した内容が、消費者トラブルの解決に繋がった。 学習した内容が、就職後の業務遂行の助けになった。						
履修条件	特になし。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【○】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP (ディプロマ・ポリシー) ①	◎ (よく当てはまる)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ②	◎ (よく当てはまる)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ③	◎ (よく当てはまる)						
	DP (ディプロマ・ポリシー) ④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	民法概論、民法(総則)Ⅰを履修していることが望ましい。							
教科書	淡路 剛久他『民法II 物権〔第5版〕(有斐閣Sシリーズ)』有斐閣、2090円、他に適宜プリントを配布する。 ポケット六法(有斐閣、令和7年版以降。授業の際には必ず持参すること)							
参考書	山野目章夫『民法概論2 物権法』有斐閣、4290円							
評価方法	毎回提出してもらったレポートの内容を重視する(90%)が、その後の授業に対する参加姿勢等(10%)も加えて、総合的に評価する。 課題提出が10回未満の方は、自動的に不合格とする。							
フィードバック方法	最後の20分で、授業で印象に残ったこと、それに対する意見、質問等を10行程度のレポートにまとめてもらう。次回は、前回出た質問をもとに、参加者全員で議論していく。それを繰り返す。							
評価基準	S：授業内容を理解しており、秀でた応用力がある、A：授業内容を理解しており、応用力もある、B：授業内容を理解している、C：最低限の基礎力を備えている、D：基礎力が不足している、E：基礎力が著しく不足している、F：出席やレポート提出の状況が著しく悪い(評価不能)。							

授 業 科目名	【 G 】	—	区 分	開講年次	【 G 】—	単位数	【 G 】—
	【 H 】	法学政治学演習 I・II E	選 択 必 修		【 H 】 2		【 H 】 2+2
	【 I 】	法学政治学演習 I・II E			【 I 】 2		【 I 】 2+2
授業内容	<p>物権法、担保物権法の応用部分について解説をする。 適宜、指名して質問もする。 その上で、最後の20分で、授業で印象に残ったこと、それに対する意見、質問等を10行程度のレポートにまとめてもらう。 次回は、前回出た質問をもとに、参加者全員で議論していく。それを繰り返す。 基本的なことは必ず板書するので、まずこれを理解することを第一に考えてほしい。</p> <p>なお、授業中の私語、携帯電話等の使用を禁ずる。以下の内容を中心に学習する。</p> <p>占有権 所有権 地上権 永小作権 地役権 入会権 抵当権 質権 留置権 先取特権 譲渡担保 所有権留保</p> <p>〈アクティブラーニング〉 この科目では、以下のような方法でアクティブラーニングを実践します。 最後の20分で、授業で印象に残ったこと、それに対する意見、質問等を10行程度のレポートにまとめてもらう。 次回は、前回のレポートに書かれた質問をもとに、参加者全員で議論していく。それを繰り返す。</p>						
予習内容	<p>事前に、配布済みのレジュメを参考に、教科書、参考書の当該部分を一読してくる。 予習は、各120分程度を目安としてください。</p>						
復習内容	<p>配布した資料、ノートを見ながら、その日の授業を再現してみる。 疑問点が生じたら、まず教科書、参考書等で調べ、それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。 復習は、各120分程度を目安としてください。</p>						
その他	<p>特になし。 ※H・I別：【 Iは選択必修（A）・IIは選択必修（B）】</p>						